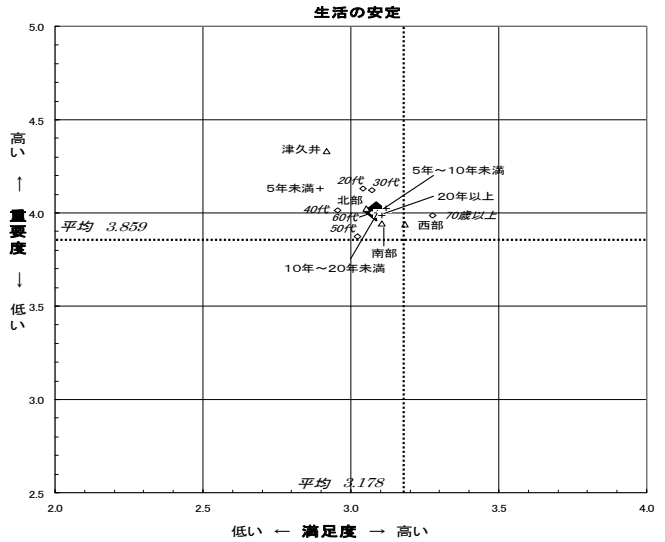


4 市民満足度調査結果(平成20年度実施分)

- この施策の満足度は3.085で121施策の中で85番目。
- 重要度は4.010で42番目である。
- 改善要望度は0.1726で29番目である。
- 年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、40代で最も低くなっている。重要度は20代で最も高く、50代で最も低くなっている。
- 地区別にみると、満足度は西部で最も高く、津久井で最も低くなっている。重要度は津久井で最も高く、西部で最も低くなっている。



5 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H18評価点	前回(H18)評価結果との比較分析
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 2 1	4 2 1	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 2 1	4 2 1	
合計		6	評価結果に基づく区分(2項目の合計点数による) A(6点以上) B(5点・4点) C(3点以下)	
				1次評価 A

*Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	自立支援プログラムは、就労による経済的な自立(就労自立)のためのプログラムのみならず、それぞれの被保護者の能力やその抱える問題等に応じ、身体や精神の健康を回復・維持し、自分で自分の健康・生活管理を行うなど日常生活において自立した生活を送ること(日常生活自立)、社会的なつながりを回復・維持し、地域社会の一員として充実した生活を送ること(社会生活自立)を目指すプログラムについても、幅広く用意する必要がある。
解決策	自立支援プログラムの推進にあたり、ケースワーカーが関係機関との連携を図ったり、社会福祉士等専門家の助言を受けつつ、多種多様な世帯ごとの支援方針を見極める目を養いながら、より適切なプログラムの作成に向け研鑽する。また、生活保護自立支援相談員には、ただ受給者を参加させれば良いということではなく、丁寧な対応を求めている。

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

客観性のある目標値設定を行う必要がある。 ⇒指標1の目標値は、当初設定していた目標値から上方修正した。	2次評価 A
--	-----------

*Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価 A
--	-----------

*Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向